

議題 6 号 恵那市地域公共交通計画の改正について

1. 概要

明知鉄道沿線地域公共交通計画の改訂に伴い、運転手確保に向けた取り組みや新たな技術を活用した高付加価値化、令和5年3月のバス路線再編に伴う目標数値の見直し修正等を行うため、所要の改定を行う。

2. 改定内容

(1) 運転手確保に向けた取組みを修正

持続的な公共交通の実現に向けた運転手不足の解消に向けた取組みを、バス・タクシーに鉄道も加えた内容に改める。

- ① (現状) バス・タクシー運転手不足は深刻であり、50～60 歳代が大半を占める一方で、若年層が増えていないことから、運行の継続が懸念されている。
- ② (課題) 地域公共交通を持続させる取り組みは、福祉・医療・教育・まちづくりなど交通の目的地となる施策との共創が必要なことに加え、バスやタクシーの運転手などの担い手確保にも取り組むことが必要である。
- ③ (取組み) 就職フェア等を通じた募集活動や資格取得の奨励策の調査・研究、運転手の養成講座の支援等の取組みを加える。詳細は改訂計画(案) p20。

(2) 新たな技術を活用した付加価値の向上を追加

地域が解決したい課題を明確にし、新技術と地域課題が適合しやすい環境を作り、地域の課題を解決し、交通の質を維持・向上する取組みができるよう新たな技術を活用した取組み内容を、本計画に加える。

- ① (現状) 現在、新たな技術の活用によって様々なモビリティの開発が進められており、交通分野における利便性向上や経営力強化を進める起爆剤となる可能性があるといわれている。
- ② (課題) 一方で、運行情報や運行経路のデータ化された情報が、自治体や事業者等が利用しやすい環境整備が十分でなく、保有データが存在する場合でも、データ分析が地域の関係者間で十分に活かされていない。
- ③ (取組み) 新技術の導入を目的化するのではなく、地域が解決すべき課題を整理し上で、自動運転及びEV車両の導入を推進する旨を加える。詳細は改訂計画(案) p39。

(3) 路線再編に伴う評価指標等の修正

令和5年3月の大幅な路線再編に伴い、計画の評価指標に相違が生じたため、再編後の利用者数の現状と目標数値等を改める。

計画中、現状数値を最新数値に改める。詳細は改訂計画(案) p42。